

『ならの道 リフレッシュ プロジェクト』 の拡大について

令和7年1月8日(水)

知事定例記者会見資料

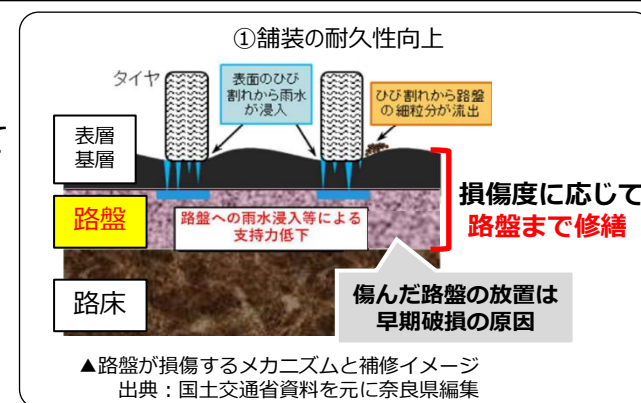
担当：県土マネジメント部
道路マネジメント課 植谷、松本
(内線4150、4152)

①対象路線の拡大（自動車交通量の多い道路への拡大）

●当初計画

実施期間：5ヶ年（令和6年～令和10年） 総事業費：約80億円

- ①舗装の耐久性向上・・・従来の表層・基層の修繕に加え、路面の損傷度に応じて路盤の修繕を実施
- ②区画線の維持修繕（視認性の向上）・・・通報やAI解析によるデータベースに基づき計画的に区画線補修を実施
- ③草刈りのメリハリ化・・・観光地や危険個所にも注目し、草刈りなどを実施（不快感の軽減）道路への雑草が生えない対策を実施
- ④道路維持管理のDX・・・スマートフォンを利用した道路パトロールやLINE(#9910)による通報サービスを用いることで、利用者の通報しやすさが向上、道路状況の確認が効率化



■対象となる道路：大型車交通量1,000台・方向以上の県管理道路 約122km
(※損傷度Ⅱ、Ⅲが対象)

④道路管理のDX



●対象路線を追加し計画を拡大



より多くの道路利用者に快適な道路空間を提供できるよう

「自動車交通量の多い道路」まで

『ならの道リフレッシュプロジェクト』の対象を拡大

実施期間：4ヶ年（令和7年～令和10年）

■追加対象となる道路：自動車交通量10,000台以上の県管理道路 約198km 合計：約320km
(※損傷度Ⅲが対象)

①対象路線の拡大（自動車交通量の多い道路への拡大）

●令和6年度の実施状況

①舗装の耐久性向上

高田土木事務所管内
(中和幹線 香芝市高山台～穴虫)



リフレッシュ前



リフレッシュ後

舗装の修繕

②区画線の維持修繕

宇陀土木事務所管内
(一般国道166号 宇陀市大宇陀麻生田～西山)



リフレッシュ前



リフレッシュ後

外側線の修繕

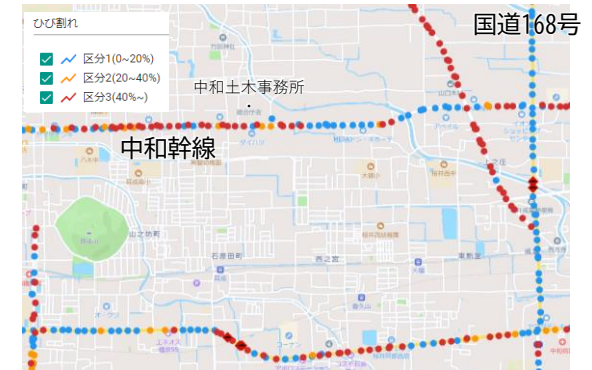
④道路維持管理のDX



道路パトロール+スマートフォンの活用、AIによる解析



道路上のひび割れ等を検出（中和幹線）



検出したデータを地図上で管理
(道路状況の確認が効率化)

②山間エリアへの拡大（市町村と連携した支障木伐採負担制度の創設）

●山間エリアにおける課題

- 道路管理者として、道路の建築限界内の通行の支障となる枝葉の『伐採・剪定の処理が発生』
- 放置された民有林からの枝落ち、倒木による『通行規制の発生』
- 放置された民有林からの倒木による『交通事故の発生』



野迫川村

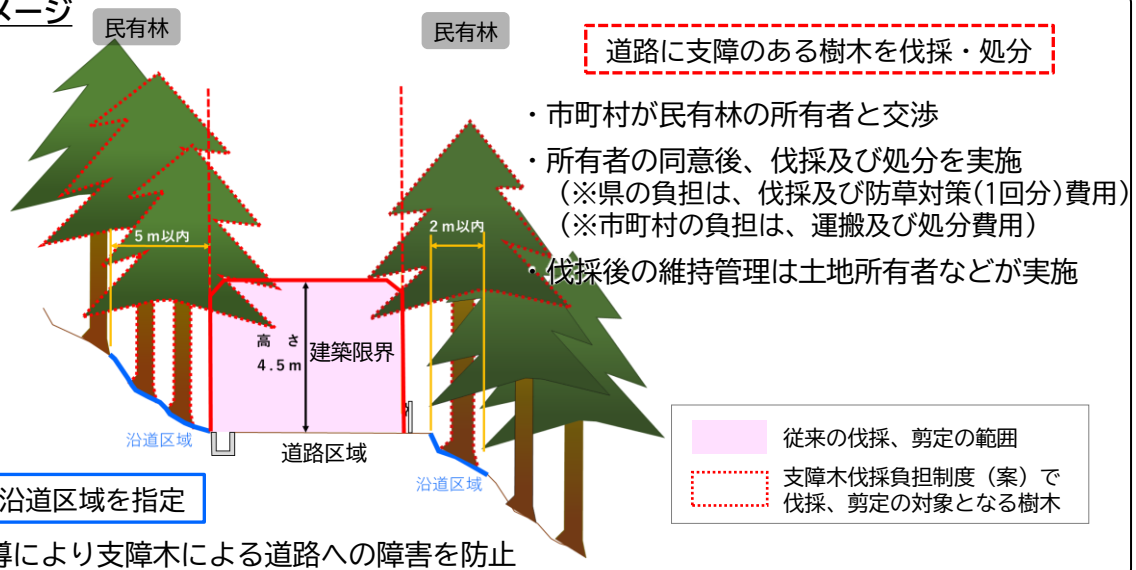
➡ 放置された民有林により、道路利用者の **安全・安心な通行** が脅かされる状況

支障木伐採負担制度（案）

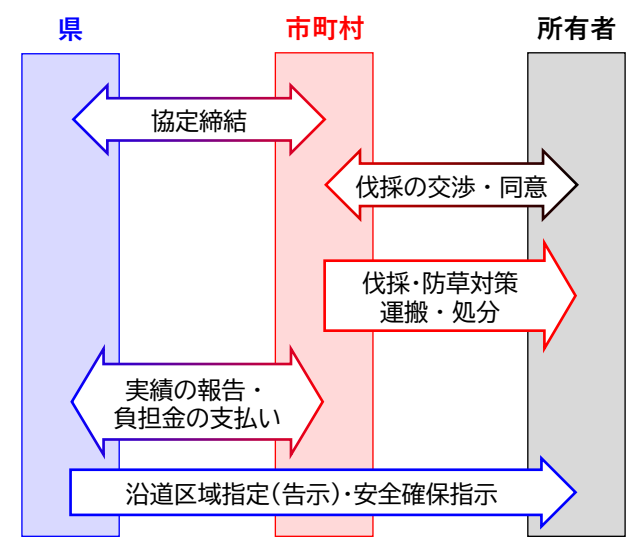


市町村と連携した 民有林への対策 が必要

事業のイメージ



支障木伐採負担制度(案)の事業の流れ



今後の展開

- ・令和7年度に野迫川村を対象に試行的に実施
- ・令和8年度から全県的な本格展開を予定（県は伐採・養生に対する負担金を支出）